



スペシャル・  
スピーチ

Japan

ACCIA

公益社  
日本  
特派

# Time to Open Up

「投資の神様」来日スピーチ

ジム・ロジャーズ

日本に残された唯一の道

「投資の神様」の異名で知られる、米財界きっての切れ者・ジム・ロジャーズが来日とあって、東京で開かれた記者会見にEE編集部も駆け付けた。消費増税をはじめとする昨今の経済政策や移民政策から日本の未来を分析し、さらには近年世界を席巻している暗号通貨をして「いずれは無に帰する」と喝破するなど、齒に衣着せぬ物言いで世界の行く末を大胆に占ってみせる同氏の至言をお届けする!

## ■ジム・ロジャーズ

イェール大学を卒業後、オックスフォード大学で修士号取得。1968年からウォール街で働き始め、'73年、ジョージ・ソロスとともにヘッジファンド「クオンタム・ファンド」を設立。'80年に仕事から身を引き、コロンビア大学ビジネススクールの客員教授に。現在、ロジャーズ・ホールディングスの会長。1942年、アラバマ州生まれ。



## 65 私が10歳なら日本を出て行くことを検討する

**Jim Rogers** The reason I'm here is because of this book, which is titled "A Warning to Japan." And I want to emphasize to you Japan is one of my very favorite countries in the whole world. I am extremely keen on Japan.

But, having said that, it grieves me, because I see serious problems in Japan, which is the point of this book. Every day, the debt goes higher—there's addition. And there's subtraction, because every day, the population declines in Japan. The cost of doing business goes higher. You have a central bank which is printing staggering amounts of money every day and buys Japanese shares in Japanese bonds.

So, I mean, as far as I can see, Japan doesn't have a great future. If I were a 10-year-old in Japan, I would consider emigrating, because there's going to be social unrest, there's going to be problems.

**be titled:**

題は～である

**"A Warning to Japan":**

『日本への警告 米中朝鮮半島の激変から米とお金の動きを見抜く』

**emphasize (that):**

～を強調する、力説する

**be keen on:**

～に夢中である

**extremely:**

きわめて、非常に

**having said that:**

そうは言っても、それでもやはり

**grieve:**

～を嘆き悲しませる

**debt:**

負債

**addition:**

足し算

**subtraction:**

引き算

**decline:**

減少する

**the cost of doing business:**

事業を行うための経費

**central bank:**

中央銀行

**staggering amounts of:**

膨大な量の、驚くほどの

**share:**

株

**Japanese bond:**

日本国債

**as far as I can see:**

私が見る限り、私にわかる限り

**consider:**

～を検討する

**emigrate:**

(他国へ) 移住する

**social unrest:**

社会不安、不安定な社会情勢

**ジム・ロジャーズ** 私がここにいる理由はこの本です、『日本への警告』といます。強調しておきたいのですが、日本は、私が世界で最も気に入っている国の一つです。私は日本の大ファンなんです。

しかし、そうは言ってもやはり胸が痛みますね。というのも、日本には深刻な問題が見受けられるからです。それがこの本の論点です。毎日、負債がかさんでいく——これは足し算です。そして、引き算もある、毎日、日本の人口は減少していますから。ビジネスの経費はかさんでいきます。あなたがたの中央銀行は毎日、膨大な量の紙幣を印刷して、日本国債の株を購入しています。

要するに、私が見る限り、日本の未来は前途洋々とはいえません。私が10歳で日本に暮らしていたとしたら、移住を考えるでしょう。なぜなら、不安定な社会情勢になりそうですし、いろいろ問題が起こりそうですからね。